



2026年5月21日

各位

会社名 株式会社テロロジーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 鈴木 達
(コード番号5133 東証スタンダード市場)
問合せ先
役職・氏名 取締役副社長執行役員グループ経営本部長 廣谷 慎吾
電 話 03-3237-3437

配当政策の変更（累進配当の導入）及び剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、配当政策の変更を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 配当政策の変更について

(1) 配当政策の変更の理由

当社は、株主尊重を経営戦略の重要課題と認識し、収益性、安全性の確保に努め、業績に基づいた配当を実施することにより株主への利益還元に取り組んで行く方針であります。

また、当社は、株主・投資家をはじめとする全てのステークホルダーの期待に応え、当社グループの持続的成長と中長期的な企業価値の向上を実現していくため、資本コストを意識し、健全な財務体質を維持させていくことが重要な経営課題であると認識しております。

配当政策につきましては、これまでの配当実績ならびに今後の業績見通しや財務状況等を総合的に勘案し、株主様への利益還元の強化に対する当社の姿勢をより明確化する観点から、1株当たり毎期20銭を目安に増配を実施する「累進配当」に変更することといたしました。

当社では、資本コストや株価を意識した経営を実践すべく重要な指標の一つとしてROEを捉え、目標とする経営指標を「ROE10.0%」と定めてまいりましたが、2026年3月期において「ROE11.4%」を実現いたしました。

今後も、収益力の強化に加え、資本効率を高めることでROEのさらなる向上を図るとともに、企業価値と株主価値の最大化に努めてまいります。

(2) 配当政策の変更の内容

配当政策の変更の内容は次のとおりであります。

変更前	変更後
当社は、株主尊重を経営戦略の重要課題と認識し、業績に基づいた配当を実施することにより株主への利益還元に取り組むことを基本方針としております。 一方、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保も株主各位の利益確保に必要な不可欠であると認識しております。	当社は、株主尊重を経営戦略の重要課題と認識し、業績に基づいた配当を実施することにより株主への利益還元に取り組むことを基本方針としております。 一方、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保も株主各位の利益確保に必要な不可欠であると認識しております。 <u>当社は、株主への利益還元の強化に対する当社の姿勢を一層明確とするため、1株当たり毎期20銭を目安に増配を実施する、長期安定的な累進配当を実施してまいります。</u>

※累進配当とは、企業が株主に支払う配当金を毎年増配、または最低でも横ばいの水準で配当し続ける配当政策です。

(3) 配当政策の変更の時期

2026年3月期の期末配当より適用いたします。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年5月15日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	2026年3月31日	2025年3月31日
1株当たり配当金	5円20銭	5円00銭	5円00銭
配当金総額	88百万円	—	85百万円
効力発生日	2026年6月24日	—	2025年6月27日
配当原資	利益剰余金	—	資本剰余金

(2) 剰余金の配当の理由

当社は、「1. 配当政策の変更について」に記載しているとおり、当社は、株主尊重を経営戦略の重要課題と認識し、業績に基づいた配当を実施することにより株主への利益還元に取り組むことを基本方針としております。

2026年3月期の期末配当につきましては、上記基本方針を踏まえ、1株当たり5円から20銭増配し、1株当たり5円20銭の配当とさせていただきます。

なお、期末配当につきましては、利益剰余金を原資といたします。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	0円00銭	5円20銭	5円20銭
前期実績 (2025年3月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭

以上